

## 目標達成計画

作成日：平成 30年 7月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35-17	年2回の消防訓練を行い防火設備点検も定期的に行っているが、台風や大雨などの自然災害時における職員勤務体制や入居者の方々の対応が明確になっていないという課題がある。	火災や地震などの災害だけでなく、台風や大雨などの自然災害時にも入居者の方々の生活が維持できるように職員の勤務体制や連絡網などを整え、緊急時にも冷静に対応できる体制を整える。	スタッフや入居者、家族の意見、運営推進会議において地域住民の意見も取り入れながら、できるだけ速やかに緊急時対応マニュアルを作成しスタッフ全員に周知する。	6ヶ月
2	2-2	ふれあいまちづくり協議会や地域のボランティアとの交流はあるが、所在地周辺が年齢層の若い世帯が多い新興住宅地にある環境から、ホーム周辺の近隣住民との交流が難しいという課題がある。	今年度は施設の目標として地域交流を掲げている。入居者と職員で近隣の公園の清掃、近隣住民参加型の施設行事(夏祭り)の開催などを通して近隣住民との交流を図る。	各ユニットで定期的に公園清掃が可能な体制を整え、入居者が主体的に地域と交流できるよう支援する。また、入居者やその家族だけでなく、地域住民が参加できるような行事(夏祭り)を企画し開催する。	12ヶ月
3	26-13	昨年度の事故報告書、ヒヤリハットの集計を行い分析した結果、事故報告書に対してヒヤリハットの提出件数が少ない傾向という課題がある。	職員一人一人が小さな事でも事故につながる要因に気づき、そのヒヤリハットを施設全体で共有できる体制を整える。「くらし向上委員会」を職員主体で開催し、業務改善や意識向上につなげることができる。	今年度より立ち上げた「くらし向上委員会」において、ヒヤリハットの集計やその結果の分析を行い、施設全体で事故につながる要因の共有、事故防止する取り組みの検討を行う。	12ヶ月
4	8-7	成年後見制度についてのパンフレットや本などの情報が閲覧可能な環境を整えているが、成年後見制度に関する研修を実施したことはなく、職員全体にまでは知識が普及していない現状がある。	職員全体に「成年後見制度」に関わる研修を開催し、施設全体で認知症高齢者の権利擁護に関する知識と意識が向上できる。	施設の研修において「成年後見制度」に関わる題材の研修を開催する。その他にも認知症高齢者の権利擁護に関するテーマで研修を開催する。	12ヶ月
5	4-3	運営推進会議において、施設の運営報告や運営計画を共有し、運営の「見える化」は勧められており、出席者とも活発な議論ができる関係が構築できている。そのため、さらに施設の運営が地域に根ざしたものになるよう、運営推進会議の活用という課題がある。	運営推進会議において施設の運営や目標設定に関する助言や意見交換を活発に行い、そこで得られた助言により、さらに地域住民の意見が反映された施設運営が行える。	外部評価結果による課題の認識、及び目標の設定を運営推進会議において意見交換し、その内容を取り入れた施設計画を策定する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。